

# HPや生徒会に評価の声

新宮市立城南中学校で21日、第3回城南中学校運営協議会が開かれ、本年度の同校の取り組みについて振り返り、改善点などを話し合った。

保護者から寄せられたアンケートを中田善夫校長が読み上げ、前回に比べ好意的な意見が増えているとし「保護者の意見をきちんと聞いて取り入れよう」として、「分かりやすい授業をしよう」として、「先生と生徒の距離が近く信頼関係ができている」など評価の声を紹介。その一方、教職員の

アンケートでは、新年度から道徳の授業が教科化されることへの準備不足や対応への不安がある、などの意見があったという。

取り組みの中で結果に表れたものとして、学校のホームページのアクセス数がある。昨年4月9日にリニューアルした時点では8万9421だったが、2月21日時点で12万7476に増加した。一日あたりのアクセス数は1193となっている。

会議の参加者からも「他の学校でもホームページ

ージはあるが、見てみると随分更新されていないままの学校が多い。そんな中、城南中は日々更新されていて写真なども多く載っている。保護者の立場からしてもすごくうれしい」との声があった。

このほか、校則に関する話題では「城南中では生徒と先生の意思疎通ができており、意見があれば生徒会を通して話し合うことになっている」などと、生徒会の活動への評価の声もあった。

(松本和也)

## 城南中学校運営協議会



運営協議会に参加した人たち